

2014年4月17日

日本居住福祉学会会員各位

第14回日本居住福祉学会全国大会のご案内

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第14回全国大会のご案内をお送りいたしますので宜しくご査収ください。

ご出席される方は、最後の頁の出・欠いずれかを○で囲んで、4月30日まで事務局宛てにファックスかメールで送ってください。本案内は、別添資料と共に、学会メーリングリストに未登録の方も含め、みなさまに郵送させていただいております。まだ未登録の方でメーリングリストに登録をご希望の方は、メールアドレスを下記事務局までお知らせください。

なお、大会での発表を希望される方は、300字程度の概要を4月25日までに、事務局までご提出ください。

草々

日本居住福祉学会

<http://www.geocities.jp/housingwellbeing/>

郵便振替口座・00820-3-61783

日本居住福祉学会・事務局長

全 泓奎 (じょん ほんぎゅ)

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学都市研究プラザ全泓奎研究室気付

Tel&Fax(直) : 06-6605-3447

E-mail : jeonhg@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

記
＜大会スケジュール＞

日時：2014年5月17日（土）
場所：大阪商業大学 蒼天（大学ホール）

10：00～12：00 理事会
12：30～13：00 受付

1. 2014年度日本居住福祉学会 総会（居住福祉賞授与式）
時間：13：00～14：00（受賞者記念挨拶を含む）

2. シンポジウム：民間住宅を活用した住宅セーフティネットの構築と
居住福祉の課題

日時：2014年5月17日（土）
場所：大阪商業大学 蒼天（大学ホール、正面入り口左・守衛室隣の建物）
参加費：正会員：3,000円／学生会員：2,000円

【趣旨】

施設型福祉は、高齢者や障がい者等社会的弱者へのセーフティネットとして機能してきた。しかし、近年のホームレスや生活困窮者の顕在化に従来の福祉が追い付かず、民間NPOを中心に、民間住宅を活用した居住支援が導入されるようになった。その先鞭をきいたのがホームレス支援であった。公的セクターでは、大都市を中心に利用されていない既存の公共建築の再利用や仮設建物を用いたホームレス自立支援センター等を整備し、それらのニーズに対応した。これは無料の食事つき通勤寮のような機能を有している。民間センターの場合には、都市内で利用されなくなった、陳腐化した、あるいは需要と供給のミスマッチで生じた空物件など、住宅市場の周辺に置かれていた民間ストックを有効に利活用し、支援付住宅、無料低額宿泊所として、住宅セーフティネットを提供し始めた。すでに10年以上の歴史を有している。しかしながら民間の場合に運営資金のかなりの割合において、利用者の生活保護費に頼らざるを得ない構図となっており、ましては、入居者の特性に応じて一体的に提供する居住支援サービスに関する規定どころか、その補助制度さえ整備されていないのが現状である。制度の挟間を乗り越えた、既存の制度の想定枠をはるかに上回る制度越境型支援と言える、支援の新領域の創生である。依存症の人々のグループホーム、矯正施設を退所した人々への自立準備ホーム、教育が十分受けられなかったことで生きづらい状況にある若年層への自立援助ホーム、そして単身高齢で行き場のない人たちへの無料低額宿泊所など、さまざまな形態の住宅セーフティネットがひそかに「ソーシャルセクター」として存在感を広げているのである。そしてホームレス自立支援法から、生活困窮者自立支援法という、セーフティネットの新たな展開の中で、制度整備も含め、居住福祉の出番がこの領域で待望されている。

そんな中で、国も重い腰を起こし、いよいよ昨年度から「民間住宅活用型住宅セーフティネット整備事業」を全国的に実施している。これは、先行する民間実践が制度実践を促し、制度的包摂を牽引する形となっており、評価できる。本企画では、基調講演として、福祉と住宅のこうしたはざまの領域への公的セクターの関与や法整備がどのようなものであるべきかを俯瞰し、居住福祉の見取り図を描いていただく。そして上述の取組での先進事例として、大都市、地方都市での実践事例を2つのホームレス支援団体から、またこうした住宅資源を、居住福祉的に利活用できる仲介をしている大都市の不動産会社の実践事例をひとつ、ご報告いただく。最後にシンポジストを交えて、学会会員のみなさんと、居住困窮状態の現状理解に加え、その対応としての既存住宅を活用した居住福祉向上策に関する実践的かつ学術的な議論を行い、学会としての対応課題を模索することを、本シンポジウムの趣旨としたい。

- 14：00～14：30 基調講演：園田眞理子さん 明治大学教授
14：30～16：00 実践報告(3団体)：
NPO 法人自立支援センターふるさとの会 滝脇憲さん
NPO 法人岡山・ホームレス支援きずな 豊田佳菜枝さん
有限会社トラックスホーム 川田洋史さん
16:00～16:10 休憩
16:10～17:00 討論
モデレーター：水内俊雄理事(大阪市立大学教授)
17:00～17:10 休憩
17:10～18:10 研究発表会(3題)

3. 懇親会

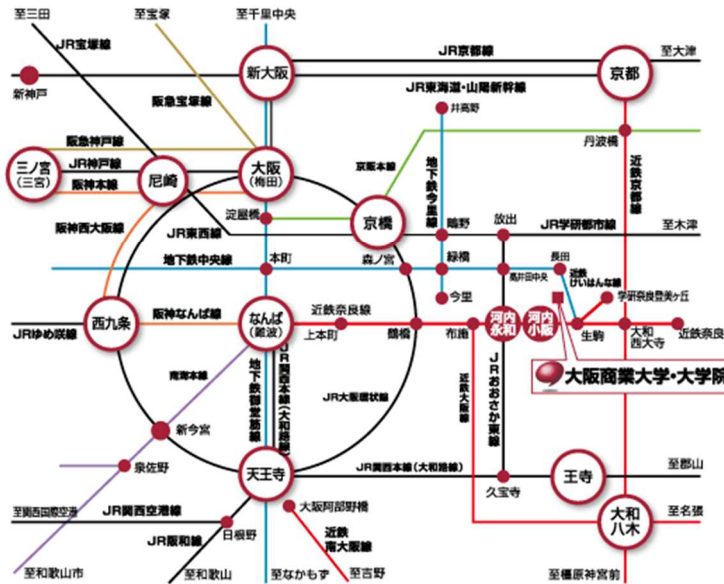
時間：2014年5月17日 18：30～20：00
場所：大阪商業大学 TTS センター6階 ホール
費用：5,100円

以上

【アクセス】

*大阪商業大学の最寄り駅は、近鉄奈良線「河内小阪駅」です。

ルート確認したい **駅名** をクリックしてください。



交通のご案内 ◎近鉄奈良線 河内小阪駅(準急・区間準急・普通停車)下車、北東へ徒歩約5分。
◎JRおおさか東線 JR河内永和駅より徒歩約12分。

■大会期間中宿泊施設のご案内

※会場から近い宿泊施設として以下のようなところが便利です。各施設は各自で予約をお取りください。また震災の影響によりできるだけ早めのご予約をお勧めします。

◎ ホテルオアシス

【価格・プラン】

シングル洋室	1泊	1名様使用	3,300円
ツイン洋室	1泊	2名様使用	6,000円 (1名様使用の場合は4,500円)
ツイン和室	1泊	2名様使用	6,000円 (1名様使用の場合は4,500円)
トリプル洋室	1泊	3名様使用	9,000円
トリプル和室	1泊	3名様使用	9,000円

※休日前、繁忙期は1名様あたり500円増となります。

【住所】

〒557-0002 大阪市西成区太子 1-9-15

TEL 06-6647-6130

FAX 06-6647-6178

E-mail : oasis@chuogroup.jp

【アクセス】

地下鉄：御堂筋線・堺筋線動物園前駅(2)番出口・(4)番出口より徒歩2分

JR環状線：新今宮駅東出口より徒歩3分 南海線：新今宮駅より徒歩7分



【大会参加申し込み】

以下の出・欠のいずれかを○で囲み、事務局（日本居住福祉学会・事務局次長 野村恭代）宛てにファックスまたはメールでお送りください。

■アドレス：nomura@life.osaka-cu.ac.jp

■FAX：06-6605-3086

日本居住福祉学会第14回大会参加予定

5月16日(金)

現地視察（参加費：500円）

出 ・ 欠

5月17日(土)（参加費：3,000円／学生会員：2,000円）

1. 総会

出 ・ 欠

2. シンポジウム

出 ・ 欠

3. 研究発表会

出 ・ 欠

4. 懇親会（参加費：5,100円）

出 ・ 欠

お名前

ご所属

4月30日(水)必着